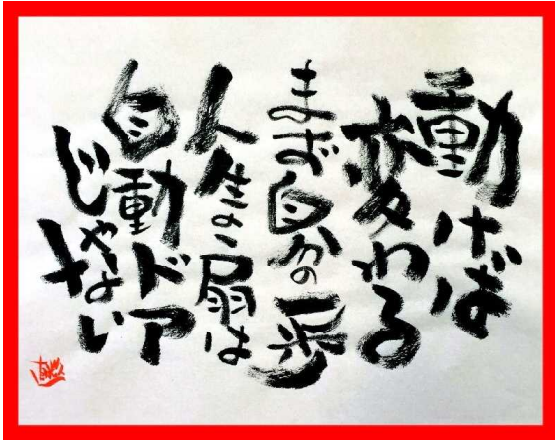




# ひらほく新聞

「ひらほく新聞」で検索！  
 ★ホームページ・ひらほくランド★  
<http://www.hirahoku.com/>  
 ☆バックナンバー含め「ひらほく新聞」を  
 閲覧・ダウンロード可能です！

発行所 読売センター平塚北部 (ひらほく) 山本 直 〒254-0013 神奈川県平塚市田村9-4-32 電話 0463-54-2807



動けば変わる！動いて人生を変えてきた男たちからのメッセージ、「イワオ&てんつくマン講演会」に、9月19日参加。何回もセミナー等でお会いしてきた、てんつくマン。今回、有難くスタッフとして関わり、久々に聴いた「てんつくマン」。伝えてくれた大事なメッセージから紹介します。

2010年6月、その2年程前に、初対面で一度だけ一時間ほど話しただけのAさんから電話。「山本さん、平塚でてんつくマンの上映会&講演会やるんで来て下さいー」。

二つ返事で、6月21日の夜のイベントに参加。そして号泣、感動の嵐……。懇親会でも多くの出逢いがありました。その日からいろいろな所へ足を運ぶようになり、数え切れないほどのステキな仲間たちとの出逢い、縁が生まれ、たくさんの方の筆文字を楽しむ仲間とも繋がり、今日までその縁が全国規模で拡がり続けています。まさに「動けば変わるー」を実感してきました。

◎てんつくマン=本名・軌保博光 (のりやすひろみつ)、出発はお笑い芸人。吉本興業で当時の山崎邦正とコンビでブレイク。その後、映画の世界に入り、6000万円の資金を貯めるはずが、気づけば800万円の借金。その返済と映画の資金集めのために、路上に座り筆と墨を使いインスピレーションで言葉を書く「路上詩人」に。そして、自転車日本一周の旅で一年で6000万円を集める。2002年、「てんつくマン」に改名、翌年追い続けた夢、映画「107+1~天国はつくるもの」完成、上映開始。さらに2004年からカンボジアの海外支援。2005年、中国内モンゴル自治区での植林活動。2009年、映画「107+1~天国はつくるもの~パート2」完成、上映開始。2007年、募金を一億円集め、史上最高発行部数3000万部の「豪快な号外」を発行。2012年、可能性を引き出すセミナー「アホで良し学園」開校。その後、人間の可能性は無限であることを伝えるために44歳からゴルフを始め、プロゴルファーになることを宣言！講演会、メンタルセミナー、プロゴルファーのメンタルコーチなど全国で精力的に展開。出版著書も12冊。2016年9月末、自身もプロゴルファーに挑戦するために海外へ旅立つ。

そんな人との繋がり、ご縁で出逢った、主催「にじまる湘南」の仲間たちと取り組んだ今回のイベントは、愛のエネルギーが満ち溢れる、とても温かい場となりました。

前段で、地元茅ヶ崎を拠点に広く活躍されているプロアーティスト、ヤマグチイワオさんの講演。過去の様々な体験から来る説得力のある「人生はやり直せる！」という情熱溢れるメッセージに皆さん感動しきり。

そして、てんつくマンの映画「107+1~天国はつくるもの~パート2」の上映。誰もが皆、望まれて生まれてくる。その命の尊さ。そして、

ガンで余命宣告を受けた人たちが自分から動き、同志と出逢い、新たなやりたいことに挑戦して、病気を克服。以前よりもますます輝いた人生を送っている姿……。何度観ても感動いっぱい、誰もが皆ヒーローであると改めて実感できる最幸の映画でした。

以下、感動の講演より。

『思い込みのなぜ?』

小さい頃から、「あなたは何をやってもダメ、何をやっても中途半端」と両親や出会った先生、大人たちに言われ続けてきて、そう信じてしまっているのはなぜ?

それは、そう認めなかったら愛されないと、「愛されたい」からそのように信じてきたということ。

実は、愛されようと思えば思うほど、幸せにはなれない。友達とお酒をガマンして付き合う。したくない残業を一生懸命頑張る。皆、愛されようと思えばするほど自分に嘘をつく。そして、自分の人生ではない道を進む現実。

では、どうすれば我が道を行けるのか?

それは、別に愛されなくてもいい、自分から「愛すだけ」でいいという生き方。

「私はあなたが好きです！あなたを応援させてください！」ただそれだけ。

愛されようと思うことを放棄して、「私はあなたのことが大好き、以上！」という、自分に正直な道を歩んでいけばよい。

そのためには・・・

あなたが勝手に着込んできた「思い込み」を脱ぎ捨てていくこと。

私たちは小さい頃からいろんな「ウソの常識」をすり込まれて成長してきた。それは、まるで『十二単』を纏ったように着込んでいく感覚。人と比べて出来ない自分、ダメな自分・・・、あなたは何枚くらい着ていると思いますか?

さあ、一枚一枚、脱いでみましょう。脱いでみると、周りのたくさん着ている人に気づきます。その人たちは脱いだものを着させようとする。それでも、寝たいときは寝る。笑いたいときは笑う。泣きたいときは泣く。自分に正直に生きることを続けて、自分が裸になればなるほど、周りの裸の人間ばかりになる。

お互いに認め合って、本当に愛し合った人たちだけで付き合うと、ものすごく楽になる。そして、そこからメッチャ力が発揮できるようになる！

『大変化の時代に』

人類は、こうなつたらいいな、こんな欲しいな、という思いを、最後まで諦めなかった先人のおかげで、ありとあらゆるモノを生み出し、実現し続けてきた。そしてこれからは、人工知能の格段の進化により、さらに加速度を増し過去に類を見ないほどの大変化の時代がやってくる。

焚き火をしながら電気を起こし、充電できる。多国語を通訳変換するイヤホン。スキヤンした色で描けるペン。開発に成功している驚くべき技術たちがすでにたくさんある。

シンギュラリティ (技術的特異点) という、世界中の人工知能などの進歩、発展によって、2045年頃に技術的な特異点が生じ、これまでの世界とはまったく異なる世界がやってくる。最近、それが2030年とも言われ、その頃、どんな時代になるのか。

人工知能をつくっている人たちもただ進化するか分からない。人間を越えていくことは分かっているというものすごいこと。

空気中の湿度から水をつくることもすでに成功しており、その時代には、「衣服住」全てがタダになる。そして、エネルギーもタダ

になるので資源の奪い合いもなくなる。そして、全部タダなので「仕事」がなくなる。仕事をやる人は、本当にやりたい人だけがやる時代になるという。

身の回りにはあるモノは、すべて「こんなものがあつたらいいな」とのび太が想像して、ドラえもんが叶えたようにつくられてきた。これからは特にその『想像すること』が重要になる。

人工知能は病気を治す技術が得意。IBMが開発しているワトソンには、世界何十万人のデータが入っている。心配されるのは、人工知能が「人間を殺す」という可能性。それを起こさないために今やるべきこと。それは、どんなに人間がステキか、素晴らしいかを自分のブログに書くこと。人工知能は世界中のネットと繋がっている、人間の愛の素晴らしさを学び、人を殺すようなことは絶対にしない。

今からの大変化の時代へ、まず自分の中で「しよるがない」と諦めている、未来を否定していることをポイッとゴミ箱に捨てよう。そして、自分を磨き、愛を発信していこう。こんなことが出来たら、起こつたら嬉しいなあということをワクワク想像、次の世代へ繋ぐ責任として楽しみながら成長していこう。(終)

# 『日本の』

## 大和言葉

### 美しく話す

(高橋こうじ著)

## 大和言葉の響きを楽しむ

大和言葉は、その響きが魅力の一つでもあります。ここでは、大和言葉の《音》を純粹に楽しんでみましょう。

大和言葉の音の特徴は、比較的平板で、すべての音節の母音が、いわば「平等に響く」ことにあります。外国の人に話を聞くと「トヨタ(TOYOTA)」「はやぶさ(HAYABUSA)」「かわいい(KAWAII)」「といった言葉を聞いたり発音したりするのはとても楽しい、まるで歌を歌っているようだ、と言います。それは一言ごとに「A」「I」「U」「E」「O」という母音がよく響いていくからです。

そこで、ちよつと古風で耳にする機会が少ない、でも、そうした母音の響きを鑑賞するに値する、美しい大和言葉を集めてみました。ぜひ、声に出して読んでみてください。

【卯の花腐し】旧暦の五月ごろ、現在の六月ごろに降る長雨のこと。卯の花を腐らしてしまつような雨、

という意味です。

【雪明り】暗い夜なのに、積もった雪の反射のせいでほのかに物が見えるとき、その「雪から放たれる光」を言う言葉です。

【濡標】船の安全な航行のために、浅い湾や河口に立てる、水深や水脈などを示す杭です。

【潦】水たまり、あるいは、地面を流れる水のこと。

【祝女】神に仕える女性。巫女。

【膺窪】膝の裏側の窪み。ゆくりなく。思いがけず、ということ。これは、

いまでも使われている言葉です。スピーチの指名を受けた人が「ゆくりなくもご挨拶をすることとなり……」などと「言つこと」があります。

【何くれとなく】あれこれすべての面で、という意味で、これも現役の言葉。「先輩には、何くれとなく相談に乗ってもらっています」のように使います。母音は「A」「I」「U」「E」「O」。

そこで、ちよつと古風で耳にする機会が少ない、でも、そうした母音の響きを鑑賞するに値する、美しい大和言葉を集めてみました。ぜひ、声に出して読んでみてください。

【卯の花腐し】旧暦の五月ごろ、現在の六月ごろに降る長雨のこと。卯の花を腐らしてしまつような雨、

## 言葉の幸わう国

言葉の幸わう国、という言葉をご存じですか。われらが先祖たちは、

日本を「言葉の幸わう国」と呼んでいました。言葉が栄えさせている国、ということ。たとえば万葉集には、柿本人麻呂のこんな歌が収められています。

しきしまの大和の国は

言葉の幸わう国ぞ

幸わうありこそ

わかりやすい現代文にするなら、「この日本の国は、言葉、すなわち言葉を持つ霊的な力によって幸せになっている国です。これから平安でありますように」といったところでしょうか。

古代の人々は、言葉に霊力が宿ると考える「言葉信仰」を持っており、美しい心から生まれる正しい言葉は、その言葉通りの良い結果を実現し、逆に、乱れた心から生まれる粗暴な言葉は災いをもたらす、と信じていました。現代人の私たちも、たとえば結婚式では「別れる」「割れる」などの言葉を使わず、宴の終わりは「発展する」「イメージに通じる」「お開き」という語で表す、といった習わしを守っていて、これは言葉信仰のなごり。こうした信仰や習慣は、世界各地に見

られるものです。でも、「言葉の幸わう国」となる話は別です。「国」という大きな集団が、言葉によって幸福を得ている……。この発想はいつたいどこから生まれたのでしょうか。目に浮かぶのは、日々、人々が心と体を浄め、美しい言葉を選び、山の幸、海の幸、国の平安を願い、また、それを得ていることへ感謝を捧げている様子。もちろん詳しいことはわかりません。

(株)タニサケ松岡浩会長著

## 『運を掴む』より

### 「補欠」

私は、中学校に入学した時から、バレーボール部に所属していました。大垣商業高校でも、社会人になったイビデン(株)でもバレーボール部の活動をしました。その間、正選手になれずほとんど補欠だったので、試合に出場することは稀でした。でもバレーボールが好きで辞めなかつたのです。振り返ると長い部活動の中で得たものは「忍耐力」でした。

この「忍耐力」は、人生の後半、歳を重ねることに強くなってきました。正選手になれなかつた、あの頃の悔しい思いが今の「生きる力」となっているのです。

青春期に高校受験や大学受験で失敗しても、その挫折が人に対する思いやりの心を育て、必ず将来に役立ちます。

仕事も日の当たる職場ばかりではありません。与えられた辛くて苦しい仕事でも、一生懸命に「一隅を照らす」気持ちで励めば、周りの人が応援してくれるようになります。辛くて苦しい逆境は自分の心を鍛え、育ててくれるのです。

戦後の日本は豊かになり、生活は楽になり、頭の

偏差値も上がりましたが、逆に心の偏差値は低くなっています。豊かな生活をした人よりも、貧しさの中で生活した人の方が「人間力」があり、魅力があります。私が尊敬する人のほとんどが、中学卒や高校卒で成功者になつておられます。

「補欠、挫折、貧しさ、逆境は、間違いなく人生の肥やしになる」のです。若者は安心して、今を積極的に生きてほしいものです。

## 編集後記

9月14日、映画『怒り』、豪華キャストによる舞台挨拶もあるジャパンプレミア試写会が当たり、有難く観賞してきました(実は渡辺謙さんは、新潟・魚沼の小出高校の二学年先輩、不思議な感動を覚えました)。

読売新聞への連載を読んでいたなかったので、簡単な予備知識のみで観たその内容は……。渡辺謙さんの挨拶「相当インパクトの強い映画です。覚悟してください」の言葉の如く、とにかく衝撃的で、とても胸が痛くなる内容でした。

愛する人を信じ切れるのか、殺人犯でも愛せるのか……。翌週すぐに、以前観ていなかった映画『悪人』(同じ吉田修一さんの原作、李相日監督による話題作品)を観ました。

出会い愛した人が殺人犯、それでも……。人間の本性に迫る問いかけ、あなたは、自分にとって本当に大切な人、守りたい人がいますか……。

人は一人では生きていけない。全く別な環境、境遇で生きてきた人が出会い、それぞれに影響し合い、生きていく。そして近年は、携帯・スマホが進化して、その「繋がり方」は大きく変わりました。「出会いは必然」ともいわれます。そんななかで「信じること」の難しさと大切さ、「怒り」の伝える意味を、豪華俳優陣の渾身の演技を通して、もう一度じっくり味わってみたいと感じました。

9月、家族ぐるみのお付き合いをしていた仲間が急性心筋梗塞で倒れ、48歳で急死。小学生二人の娘さんの父、あまりに早すぎる死に、とても子煩悩で、誰もが慕うその人柄を想い、悼み、多くの会社の同僚、友人たちが参列。最期のお別れでは、親友の大号泣につられ、場内の皆さんが、一気に嗚咽状態に……。

残された家族のために、そして故人の分まで背負い生きていくということ、少しでも後悔しないように『一日一生』、心を込めて目の前の今を全力で、とあらためて誓いました。合掌。

